

# けんこう

地方独立行政法人  
岐阜県総合医療センター  
Gifu Prefectural General Medical Center

- 令和4年3月発行
- 令和4年 春号
- 発行責任者 滝谷博志
- 編集 総合医療センター広報委員会

## ご挨拶

岐阜県総合医療センター  
院長補佐

谷畠 進太郎



みなさまこんにちは。

新型コロナウイルス感染症が世界的大流行となり、約2年が経過しようとしています。当センターは重症患者様（人工呼吸器やECMOエクモによる治療）を中心に受け入れ、診療に大変多くの医療従事者が必要でした。一般診療を縮小せざるを得ない日々が続き、いわゆる医療崩壊の1つとも言える状態でした。それに伴い、地域や県民の皆様には大変なご迷惑やご心配をおかけしたことを思います。いち早く平常を取り戻し、「安全安心な医療」を提供できるよう、パンデミックが収束するよう願っております。

ところで安全や安心とはよく並べて使われますが、その違いは何でしょうか？

「安全」は「安全性」等に使われるように客観的な意味で使われ、「安心」は「安心感」等と使われるように主観的な意味合いがあります。安

全の反対の言葉は「危険」、安心の反対は「不安」と考えられます。

「安全」とは①「危険がなく、無事に過ごせること」という意味で、事故や災害などの身の危険に関する要素がない状態を言います。②「盗難紛失・破損などの心配がないこと」という意味で、自分の所有物が損なわれる心配がない状態を言います。③「気持ち落ち着かせること」という意味で、心を平静な状態にすることを言います。これらに共通するのは「危険がない」という意味です。

「安心」とは①「気掛かりなことがなくなり、心が落ち着くこと」という意味で、悩みごとがなくなつてほつとすることを言います。②「仏教用語で、信仰により心が揺るがない状態に達すること」という意味です。③「内心で工夫すること」という意味で、高いレベルで気配りをすることを言います。これらに共通するのは「心が落ち着く」という意味です。

当センターは、医療（診療や経営など）における安全の確保に向けた取り組みについて、主観によるところではなく、第3者（公益財団法人日本医療機能評価機構）による客観的な評価をして頂いています。「倫理と自律性を重んじ、中立的・科学的な立場で医療の質・安全の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行い、国民の健康と福祉の向上に寄与します」という理念の機構に、5年に1度 病院機能評価を受審し、次回は2022年度に5回目の評価を予定しています。その内容を真摯に受け止め、みなさまに安全安心のもと、より良い医療を提供し、頼りにされる病院を目指し 頑張つてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

### 患者さんの権利と責務

- 患者さんに次の権利と責務があります。
1. 平等に安全で良質な医療を受ける権利
  2. 十分な説明と助言のもとに自分自身の医療を決定する権利
  3. セカンドオピニオンを受ける権利
  4. 個人のプライバシーが守られる権利
  5. 医療従事者と協力して医療に参加する責務

### 臨床倫理指針

1. 患者さんの人権、意思を尊重し、有益かつ公平な医療を行います。
2. 治療方針の十分な説明と同意に基づいた医療を行います。
3. 患者さんの個人情報と保護し、医療者の守秘義務を遵守します。
4. 治療にかかわる法令を遵守し、ガイドラインに準じた医療を行います。
5. 院内の各種委員会（倫理委員会、治験審査委員会、臓器提供委員会など）の審議結果に基づいた医療を行います。

### 岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

### 岐阜県総合医療センターの基本方針

1. 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
2. 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
3. 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
4. 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
5. 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
6. 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

## 🌸 将来透析にならないために腎臓教育入院をお勧めします

腎臓内科部長 村田 一知朗

最近よく耳にする慢性腎臓病（CKD）とは何でしょう。つまるところ将来透析となってしまう原因疾患のことです。疾患には糖尿病性腎臓病、糸球体腎炎（IgA 腎症）、腎硬化症、常染色体性多発嚢胞腎があります。

糸球体腎炎と常染色体性多発嚢胞腎は主に腎臓専門医が治療する専門医治療型の疾患であり、糖尿病性腎臓病と腎硬化症は専門医だけでなく保健師、栄養士、薬剤師多職種が介入し、経過観察に関わる生活習慣病対策型の疾患です。

どちらも早期に発見し治療することが大切です。当科では生活習慣病型疾患（糖尿病性腎臓病、腎硬化症）に対する一つの治療介入手段として腎臓教育入院を施行しています。まず腎臓についてよく知っていただき、腎臓を悪くしない生活習慣とはどのようなものなのか、医師からの腎臓講義をはじめ薬剤師、栄養士、リハビリ療法士、透析専門看護師から薬の知識、腎臓食（特に塩分制限）、適切な運動、腎代替療法について三泊四日の入院にて集中的に指導教育します。ここで得た知識は腎臓だけでなく体全体の動脈硬化進行抑制に大いに寄与することとなります。透析にならないためだけでなく、最後まで健康的な生活を送るためにも是非当科での腎臓教育入院されることをお勧めします。



## 🌸 小児心臓外科のいままでとこれから

小児心臓外科部長 岩田 祐輔

1997年の当科（小児心臓外科）開設から25年が過ぎ、2000例以上の先天性心疾患手術を行ってきました。以前は出生後に酸素飽和度が低くチアノーゼがあることで気付かれ、紹介になっていましたが、現在では胎児診断が進歩して、お母さんのお腹にいる時点で診断され紹介されることが多くなりました。ちなみに心臓は受精してから約40日で出来上がるので、お母さんが妊娠に気付いた時には出来上がっていることがほとんどです。また現在では手術成績が向上し、ほとんどの患者さんが成人を迎えるようになりました。修復した部位が経年劣化で再手術が必要になる方、人工弁や人工血管が留置された方で経年劣化や成長に伴うサイズミスマッチのため再手術が必要になる方が増えてきました。最近では、このような方たちを成人先天性心疾患と分類して専門的に治療することが推奨されるようになり、小児心臓外科は成人先天性心疾患の外科治療も行うようになりました。当院ではその専門チームを2011年から開設しています。この25年で診断時期の変化、治療成績の向上、アフターフォローの仕方も変化してきました。時代の流れに合わせて当科では対応しています。今後もこの地域の中核施設として、地域のみなさまに貢献していくつもりです。何か気にかかることなど、お気軽にご相談ください。

# 「がん」と「コロナ」

外科部長 長尾 成敏

コロナ禍においても、岐阜県総合医療センターでは胃がんや大腸がんなどの“がんの手術”はけっして制限していません。しかしがんの手術数は減りました。胃がんは毎年100人くらい手術していました。しかし、コロナ禍の2020年2021年、約2割少なくなっています。

グラフ1は、胃がんと診断され私どもの外来を受診された患者さんの数を月ごとに集計したグラフです。人流抑制とよく連動して減少しています。

グラフ2は、コロナ前とコロナ禍で進行がんと早期がんの割合を比べてみました。コロナ前は約50%、コロナ禍では40%と早期がんの割合が減っていました。

なぜ、進行がんは減らず早期がんは減ったのでしょうか。コロナ禍で皆さんが感じたことは、人の集まる場所は感染症を拾いやすく移しやすいところだ、ということでしょう。病院へ来れば必然的に密になりますし、感染した患者さんの集まる場所ですから、今までは「心配だから病院へかかろう」と考えていた方も「病院へ行くのは心配だ」に変わりました。また少々お腹が気になっても、「医療従事者は忙しそうで、こんな時期に胃カメラなどやらない方が良い」そう考える人も多かったのかと思います。検診や人間ドックも控える方が増えたのでしょうか。一方、進行がんは「胃が痛い」「血を吐く」「食べられない」とても辛いものです。コロナ流行だろうがなんだろうが、辛くて病院へ行かざるを得ません。コロナにかかるリスクのことなど言ってもらえません。

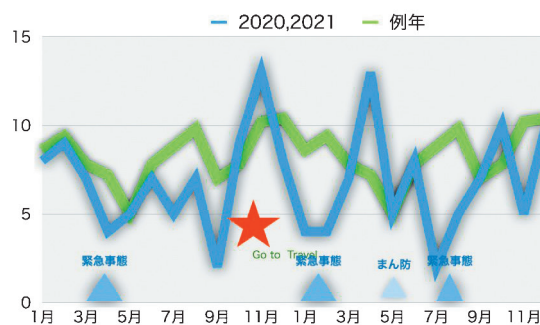
がんの早期発見の機会が減ったこと、それが早期がん減少の理由だと思います。

表は日本人の罹患者数と死亡者数です。現在胃がんは1年に13万人みつきり4万2000人が亡くなっています。肺がんや子宮がんなど全てのがんを合わせると100万人が“がん”になり、37万8500人が亡くなっています。早期発見によりまだ37万8500人に抑えられている、といってもいいかもしれません。

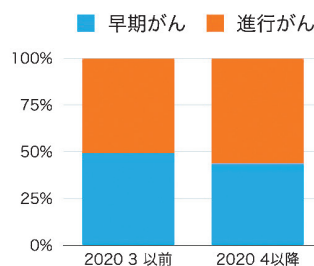
人流抑制は感染症を抑制し失われるはずの命を救いました。一方“がんの早期発見を抑制した”ようにも思えます。発見されたはずの早期がんの患者さんが進行がんとなってしまう危険があります。年単位でみるとがんによる死亡率が上昇してくるかもしれません。コロナによる直接的死亡者より、このような間接的死亡者が問題になってくるかもしれません。

	コロナ	胃がん	全がん
かかる人	173万人	13万人	100万人
死者数	18385人	42000人	378500人
期間	1年11ヶ月	1年間毎	1年間毎

グラフ1 胃がんの患者数



グラフ2 早期がん・進行がんの割合





# 看護部からのお知らせ

## 「心臓リハビリテーションネットワーク (CR-GNet) を通じて、かかりつけ医療機関の先生方と連携し、患者さんやご家族の支援体制を強化しています」 ～「自宅で」「安心して」「自分らしく」「健康的に」暮らせるように～

慢性心不全看護認定看護師 簗 島 啓 太  
心不全療養指導士 心臓リハビリテーション指導士 植込み型心臓デバイス認定士 石 原 真由美

当院では心臓に病気を抱えた患者さんが、入院中から退院後の外来通院へ継続的に生活支援を行っています。また患者さんが「どのように生活したいか」という気持ちを大切にその思いに沿った看護支援を心がけています。

当院では、2011年度より「心臓リハビリテーション外来」で心臓リハビリ看護師が心不全の疾病管理プログラムに沿った療養支援を開始しました。

2017年度より「心不全看護外来」で慢性心不全看護認定看護師は、心不全で入院を繰り返す患者さんが在宅で入院中に指導されたことが生活の場面で行えているかを評価し、患者さんとともによりよく生きることを考え

ながら看護支援を行っています。これからも、心臓に病気を抱えた方が安心して生活できるように支援体制を一層強化していきたいと考えています。

この支援を繋ぐため地域のかかりつけ医療機関へ戻られる患者さんは、地域連携パス：心臓リハビリテーションネットワーク (CR-GNet) を通じて、かかりつけ医の先生方と連携しています。心臓に病気を抱え不安をお持ちの方が、安心して暮らせるようにこれからも地域と「つなぐ」看護支援を行っています。



## 寄付について

新型コロナウイルス感染症により自宅で過ごす時間が増え、なかには「食事時間が不規則になった」「食べ過ぎてコロナ太りしてしまった」など食生活が乱れている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。2020年12月に4490人の日本人労働者を対象にWEB上でアンケートを用いて「食生活と健康の社会的関係」の調査が行われました(Tahara Yu, 他 Nutrients 2021)。その結果、不規則な食事が、睡眠障害の発生率を高め、低い活動レベル、および生産性の損失と相関していることがわかりました。さらに、「とても疲れている、緊張している、気分が落ち込んでいる」などで表されるメンタルヘルス状態が不調であることも関連があることがわかり、「食事時間が不規則であることはメンタルヘルスが不良であることを知る指標」ということが示され、「メンタルヘルスを良好にするためには、食事時間を規則正しくすることが必要」と、この調査でわかりました。食事が乱れがちの方は、可能な限り規則正しい時間に食事をすることを心掛けて、心と体ともに健康に過ごしましょう。



## こんにちは 栄養部です

### ～不規則な食事は生活にどんな影響を及ぼすのか～

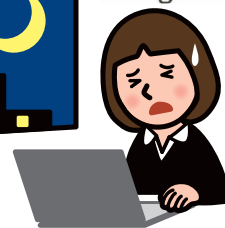
新型コロナウイルス感染症により自宅で過ごす時間が増え、なかには「食事時間が不規則になった」「食べ過ぎてコロナ太りしてしまった」など食生活が乱れている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

2020年12月に4490人の日本人労働者を対象にWEB上でアンケートを用いて「食生活と健康の社会的関係」の調査が行われました(Tahara Yu, 他 Nutrients 2021)。

その結果、不規則な食事が、睡眠障害の発生率を高め、低い活動レベル、および生産性の損失と相関していることがわかりました。さらに、「とても疲れている、緊張している、気分が落ち込んでいる」などで表されるメンタルヘルス状態が不調であることも関連があることがわかり、「食事時間が不規則であることはメンタルヘルスが不良であることを知る指標」ということが示され、「メンタルヘルスを良好にするためには、食事時間を規則正しくすることが必要」と、この調査でわかりました。

食事が乱れがちの方は、可能な限り規則正しい時間に食事をすることを心掛けて、心と体ともに健康に過ごしましょう。

第41回



広報紙「けんこう」第44号をお届けします。

取り上げてほしい情報などありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号

TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805

Eメールアドレス info@gifu-hp.jp

ホームページアドレス https://www.gifu-hp.jp



この印刷物は環境にやさしい大豆油インクを使用しています。